

健康に配慮したF☆☆☆☆！
作業性にこだわった塗りやすい塗料です！
もちろん耐候性にも優れます！



ターペン可溶形アクリルシリコン樹脂塗料

カンペ1液Mシリコン

鉄部・木部・モルタル・コンクリートに！

高耐候性

鉛・クロム
フリー

防カビ
防藻性

難汚染性

弱溶剤

カンペ1液Mシリコン



適用下塗材

- アレスホルダーZ等の微弾性フィラー ○ホルス下塗白(F4)
- ザウルスEXII ○スーパーザウルスなど

標準塗装仕様(例)

一般鉄部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
1	素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
2	下塗り	0.13	4時間以上 7日以内	ローラー	0~10	
		0.17		エアレス	5~15	
3	上塗り (1回目)	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	
4	上塗り (2回目)	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	

木部

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
1	素地調整	汚れ、付着物を除去し、研磨紙P120~240を用いて研磨紙ずりを行う。節およびその周辺は、セラックニスを用いて節止めを行い、穴のふめの必要があればポリパテなどで穴うめを行う。				
2	下塗り	0.12	16時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10	
3	上塗り (1回目)	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	
4	上塗り (2回目)	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	

適用素材

- 鉄部 ○木部 ○モルタル
- コンクリートなど

荷姿

- 15kg ○3kg
- 艶有り~3分艶有り

コンクリート・モルタル

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
1	素地調整	モルタルの浮き・クラック等は適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング汚れ等を高圧水洗にて除去し乾燥した清浄な面とする。				
2	下塗り	0.8~1.5	8時間以上 7日以内	多孔質 ローラー	1~5	
3	上塗り (1回目)	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	
4	上塗り (2回目)	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	

※この他にも様々な仕様を組み合わせて可能です。詳細については当社係員までお問い合わせ下さい。

窯業系サイディングボード

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)	
1	素地調整	サイディングボードのクラック・ボード面の節理部のクラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	下塗り	0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10	
3	上塗り (1回目)	0.13	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	
4	上塗り (2回目)	0.13	—	ハケ・ローラー	5~15	
		0.17		エアレス	5~20	

施工上の注意事項

- ①所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ②塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低湿時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。
- ③気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けて下さい。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
- ④匂い込みが大きい素材や、下地調整を行った部分には、「[エポムシーラー]」を下塗りとしてご使用ください。[NPシーラー] [アレストロンシーラー] は不適です。
- ⑤黄・赤・青・緑系の牙えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目に共色で塗装して仕上げることをお奨めします。
- ⑥外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないでください。剥離の原因となります。
- ⑦耐腐蝕性、耐油性、耐溶剤性等が求められるカウンター、床面、遊具、プラント、設備類へは適用できません。
- ⑧コンクリート、モルタル等のアルカリ性素材に塗装する場合は、水分8%以下、pH10以下になるまで、十分に乾燥させ、適切な下塗りに塗装後に本品を塗装してください。塗装する際は、適切な下地処理を行ってください。
- ⑨鉄屎等の旧塗膜への直接塗りは手ずみや付着不良等の不具合が発生する場合がありますので、必ずザウルスEXII等のさび止めの上に本品を塗装してください。
- ⑩使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるために、仕上り不良の原因ともなりますのでご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。
- ⑪被塗面に、油、ワックス汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。

- ⑫ツヤ調整仕上げの場合、塗装方法の変動、所要量のバラツキ等により、ツヤムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。
- ⑬塗料用シンナーで容器に溶解する旧塗膜の上には塗装しないでください。(チヂミが発生する場合があります。)
- ⑭異なる色相で塗り重ねる場合、2層目の上塗り時に1層目の色のブリード(色の移行)が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ⑮汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑯塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ⑰閉じた状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘・皮張り等を起こしやすくなりますので、使用後の塗料は、必ず密閉して冷暗所に保管してください。
- ⑱スチールドアなどで、ゴムパッキンと接触する部分は、粘着することがありますので、塗装は避けてください。
- ⑲シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シーブラ」又は「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- ⑳ドアノブ廻りや手摺りなど人の手が頻りに触れると手摺等により塗膜が軟化する場合がありますのでご注意ください。
- ㉑蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

- 取り扱った作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・手袋を着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災が発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明器具等を使用すること。
- 揮火又は高温の白熱体に触れないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
吐出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手が届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道販売部 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北販売部 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東販売部 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京販売部 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪販売部 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国販売部 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国販売部 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州販売部 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

ご用命は